

# となりにいるよ

2020.08

Vol.32

## 感謝

ゆうりん施設長 小尾 康友

ゆうりんから退所した子どもたちが週末にふらっと帰ってくる。

子どもを産んでゆうりんの近くに引越して、赤ちゃんとお風呂に入りに来る子や、夕食を食べながら近況を話す子、就労が上手いから寮から出てきた子、毎週当たり前のように食卓にいる子等がいる。

最近では、休みの日に無償でゆうりんの修繕を行い、退所後に行き場を無くした子どもを自社で面倒を見てくれたカツコイ先輩もいる。

そんな先輩一人ひとりが多くの苦勞を乗り越えて現在に至っている。そのカツコイ先輩は小学生高学年の時はジャイアンのように後輩から恐れられていた。当時若輩だった私は職員としてどう育てたら良いのか悩みながらぶつかっていた。中学で家に帰ることになったが、父親と反りが合わずに一年後には家出を繰り返した。その時に「腹減ったー」とお腹を空かせてよく来ていた。

その際におにぎりを食べながら言った言葉を覚えている。

「俺思ったんだよね。シンナー吸ったり、盗みをしたり、喧嘩ばかりするやつって、親が家にいなくてさみしいからやつてるんだよね」

過去には思いを言葉に出来ずに暴力を繰り返していた子が、社会的養護が必要な子どもの本質を代弁しているようで成長に驚いた。また当時の私が全力で関わった日々が少し報われた気がした。

子育てを仕事としているこの仕事は答えがない。職員は「これで良いのか」と悩み続ける。その時に、ゆうりんから巣立った子どもたちの現在を見ると、子どもにとって何が大切で、最善の利益とは何かの、一つの指標となってくれる。

ゆうりんの子どもたちにとっても先輩の姿は、姉兄のように良いも悪いも将来のイメージを膨らます最大のモデルとなる。また「出てった後も帰ってきていいんだ」と社会の荒波に飛び出す勇気をくれる。

退所した子どもが帰ってくることはゆうりんが安全基地であることと、職員の向かうべき方向を教えてくれる。

ゆうりんの先輩ひとり一人の苦勞を乗り越えた体験が、この連鎖を作ってくれているのだと思う。

また、顔を出してください。

\*昨年度、退所後の子どもたちがゆうりに訪れた回数は391回あり、その内泊まった回数は165回だった。



# ゆりりん

今年は

コロナウィルスで大変でしたが  
できることを楽しんで  
みんなで協力して  
夏を迎えることが出来ました  
まだまだ油断できないですが  
コロナに負けないで  
充実した生活を送りたいですね





この春は  
お出かけやお買い物に行くことが  
なかなかできなかったけど  
ほだかのみんなは  
お部屋やお庭でも楽しさいっぱい  
みんな元気にキラキラ笑顔で  
夏を迎えることができました



ほだか



新聞紙だって楽しいおもちゃです



ふわふわの花生であんよの練習♪



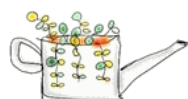
梅雨の晴れ間のこの日、海を見に行きました！







## ふれあいセンターおおだか



令和2年4月より「つどいの広場事業」から新たに「地域子育て支援拠点事業」となり再スタートをしました。ところが新型コロナウイルス感染拡大により、緊急事態宣言が発令され休業が要請されました。4月に入園、入所を控えている子どもたち、また引越しをされる利用者のみなさんともきちんとお別れができないまま今日を迎えています。

3月から5月の休業中、家庭での子育てに疲れ悩んだりされていないだろうかと何度となく思いがよぎりました。そんな中、Youtubeチャンネルを開設してセンター再開まで利用者のみなさんとながついていけたらと思ひ発信を続けてきました。

6月に休業が解除されましたが利用については、人数制限、曜日により年齢別の利用など大変ご不便をかけながら再開させていただいています。コロナで厳しい中たくさんの方に利用していただいで嬉しい限りです。利用者さんからは、「Youtube 見えます。」「再開できて良かったです。」「待ちどうしかったです。」など温かい言葉をいただきました。中には、「また閉鎖になったら困ります。」など不安な思いで通ってきてくださった様子もうかがえます。安心はできませんが、一日一日を楽しく過ごしていただけるよう精一杯対応させていただきます。

### ◆就労している子の一日

7:00 起床、朝食  
7:30 出勤  
8:00 バイト勤務開始  
17:00 バイト勤務終了  
18:00 帰宅  
18:30 夕食  
入浴、洗濯  
22:30 門限  
23:00 消灯



事務室にあるソファです。ふらっとやってきて、ここに座り職員とおしゃべりを楽しみます！

### 自立援助ホーム

## きょうわ



自立援助ホームきょうわでは、現在16歳、19歳の男児6名、女児2名が生活しています。子どもたちは、働いて得た給料でホーム費を払って共同生活を送り、就学、就労をしながら身の周りの家事も自分で行います。一般的には高校生の年齢で大人に交ざって仕事に向かうことは、私たちが思う以上に大変です。働きながら勉

### ◇就学している子の一日

(通信制、週1回スクーリング)

7:00 起床、朝食  
7:30 登校  
9:00 授業開始  
14:00 授業終了  
(授業の後にバイトへ行く子もいます)  
17:00 帰宅  
18:00 夕食  
入浴、洗濯  
22:30 門限  
23:00 消灯



リビングに集まり7月の誕生会をしました。リクエストのピザに大喜び！

強をして高校卒業を目指す子、一生懸命働き確実に貯金をしている子、慣れない仕事に心が折れ、立ち止まってしまふ子、目的の自立に向かえず壁にぶつかってしまう子。きょうわには色々な子どもたちがいます。それぞれが悩み、葛藤しながら、それでもなんとか自分自身と向き合い、現実を受け入れ、今するべきことは何かを職員と共に考えながら日々を過ごしています。



# かえで



春頃から、日本中でコロナウイルスが流行し、かえでの子どもたちも学校が休校になり、友達に会えない。公園にすら行けない、とても窮屈な生活を余儀なくされました。普段であれば外で元気に走り回れるはずが、家に引き籠るしかなく元氣を持て余す子どもたち。どこのご家庭、施設でも同じかと思いますが、そんな子どもたちの姿を見て、私たち職員も心を痛めていました。

そんな自粛生活を経て、少しずつ感染者も減り、6月頃から学校も再開になりました。学校や幼稚園に行ける。友達や先生に会える。学ぶことも、全力で体を動かすこともできる。マスク着用等といった新しい生活様式はありながらも、徐々に「今日はこんなことしたよ!」とイキイキ話す子どもたちの姿を見ることができました。

かえででは、夏は福井県への旅行が恒例行事になっています。今年も透き通る海と大迫力の花火大会を、子ども、職員共に楽しみにしていました。

しかし、世間では徐々に感染者が増え、花火大会は中止、海開きもされないことがわかりました。

幸いかえでの子どもたちは元氣に過ごすことができていますが、「当たり前」だと思っていた日常の尊さを再確認させられる毎日です。この状況の中、どうこの夏を過ごすのか、今後どのように子ども達を守っていくのか。とても難しい課題ではありますが、今私たちにできることを、子どもたちと共に考えていきたいと思います。

# 厨房



ほだかでは、毎月誕生日を迎える子どもたちを皆でお祝いする、全体誕生日会を行っています。主役の好みや年齢に合わせて、毎月手作りのケーキを作っています。が、「どんな顔をして喜ぶかな?」と、子どもたちの笑顔を想像してケーキを作っています。アンパンマンが大好きな子、ケーキ自体が苦手な子、皆それぞれ好みがありますが、誕生日という特別な日を皆にお祝いしてもらい、自分のために作られたケーキを食べ、「自分は大切にされている」と感じられる誕生日会になつたらいいなと思っています。

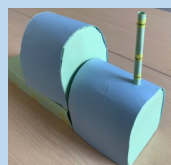
ほだかの誕生日会で初めて甘いものを食べる子もあり、びっくりして震えてしまうような子もいますが、それもひとつの思い出です。いつか写真を見ながら、「こんなことがあったんだよ」と、笑いながら話せる日がきつと来ると思っています。

子どもたちはあつという間に大きくなっていきますが、誕生日という一瞬を大切に、「また一つ大きくなったね、おめでとう!」という気持ちを含めて、これから誕生日のケーキを作つていこうと思います。



## ゆうりん山小屋(仮称)

### 建設に伴う寄付のお願い



立秋とは名ばかりの厳しい暑さが続いております。皆様におかれましては、日頃から社会福祉法人中央有鄰学院に対しまして多大なるご支援ご協力を頂き職員一同厚くお礼申し上げます。

先回、ゆうりん山小屋(仮称)建設に伴うご寄付のお願いをしたところ、早速山小屋のためにのご寄付を頂き、ありがとうございました。

山小屋は設計図がようやく仕上がりました。「山小屋の周りには、実のなる木を植えようよ」「ピザ窯があったらいいな」「燻製小屋を作ろうか」と、子どもたちや職員と勝手に夢を膨らませております。

子どもたち、巣立っていった子どもたち、そして、その家族が集える場にしていけたら思っております。

この建設の趣旨をご理解頂き、皆様にご寄付をお願いしております。よろしくお願い致します。

常務理事 児玉克己

※目標金額 5,000,000円  
寄付金額 1,220,000円(7月末現在)



# 幼少期からの性教育の取り組み

ゆうりんケアワーカー 東 悠加



現代の子どもたちは、大人が思っている以上に、情報社会の中で生きています。どこから得た情報なのか、その情報は正しいのか、子ども自身で判断する術を持っていない子が多くいます。ゆうりんでは、日々の安心安全な生活の中で、「性教育」に取り組み、性問題への予防教育を行っています。

ゆうりんでは、幼少期からの性教育に取り組んでいます。「幼少期の性教育なんてまだ早いのでは」と考える人もいかもしれませんが。しかし、幼少期でも発達とともに自分の身体の変化に興味を持ち、自分のプライベートパーツに触ったり、他人のプライベートパーツを見ようとしたりする行動がみられることもあるかもしれません。プライベートパーツ（おもに、水着で隠れる部分）を伝えることで、自分の身体の大事なところ、相手にとっても大事なところだと伝えることができます。さらに、6つのルール（①ほかの人のプライベートパーツを触ってはいけない。②ほかの人に、自分のプライベートパーツを触らせてはいけない。③自分のプライベートパーツを見せてはいけない。④ほかの人のプライベートパーツを見ようとしてはいけない。⑤自分のプライベートパーツに触つてい

いのは、ひとりであるときだけ。⑥性的な言葉や行動で、ほかの人に不快な思いをさせてはいけません。）も同時に伝えるようにしています。こうしたルールに幼少期から身近に触れることが、自分を守ることや、他者の権利を侵害しないことにつながると考えています。

幼少期を過ぎると、さらに日々の生活の中で子どもたちから性への興味や関心、疑問が出てきます。例えばお風呂の中で、「どうして大人はおっぱいが大きくなるの?」「どうして毛が生えてくるの?」と、唐突に聞いてくることもあります。「性教育」というと、構えがちになり、恥ずかしさから、「どうしてそういう事を聞くの」「そんなこと聞いたらダメ」と言ってしまうかもしれません。

しかし、それでは子どもの中で「性」は「タブーなこと」になってしまい、正しい情報を得

る機会を逃してしまいます。

ゆうりんでは、まずどこから得た情報なのか、間違った知識を覚えていないかを確認し、子どもの年齢や発達に合わせて正しい情報を伝えていきます。そのため、子どもと職員の性に関するやりとりが、日々の生活の中で自然に行われるようになりました。

「性」を「タブーなこと」とせず、自分や他人を大切にできる大人になってほしいという願いを込めて、これからも幼少期からの性教育に取り組んでいきます。





# 職員紹介



ゆうりんケアワーカー 木屋川内 雅史

・どうして中央有鄰学院で働こうと思ったのですか

もともと保育園等で勤めるつもりでしたが、大学で児童養護施設のことを学び、実習に行ったことが僕の転機でした。実際に施設で感じたことは、大学で学んだイメージとは違い、子どもたちの表情も明るく、家庭的な雰囲気がとてもいいなと感じました。実習後もボランティア、アルバイトと継続して子どもたちと関わらせていただき、長い間子どもたちの成長をみていけることに魅力を感じました。

・やりがいを感じるのとはどんな時ですか

子どもと関係が出来てきたなと感じるときです。はじめは何を言っても響きませんが、自分の気持ちをぶつけ、ぶつかり合うことで徐々に子どもに伝わるようになったなと感じるときがあります。話さなかった子が自分から話しかけてくれるようになったときは、すごく嬉しかったのを覚えています。

・ゆうりんでは働いて良かったと思うことは

子どもと一緒にやりたいことを、目的を持ってできることです。趣味を共有したり、一緒に楽しむことができるため、子どもとの共通の趣味が出来ます。一緒に釣りを

に行ったり、1対1で外出をする時間を十分にとることができると思います。

他には、施設を卒業した子どもたちが里帰りしてくれるところです。久しぶりに会った子どもたちが、「久しぶり！」と帰ってきてくれる姿を見るのはとても楽しみです。

・休みの日は何をしていますか

基本、家でごろごろしています。目覚ましをかけずに寝られるのがすごい幸せです。先輩職員さんと一緒にフットサルや釣りに行ったりもします。

・最後に一言

子どもの成長を見守るのはとても楽しく、時にはぶつかりあい大変なこともあります。それ以上にやりがいのある仕事だと思っています。様々な子どもと関わっていく中で自分も成長していると感じます。一人でも多くの子どもたちの支えとなるよう、これからも頑張っていきたいと思えます！



ほだかケアワーカー 磯貝 昌平

・なぜ中央有鄰学院で働こうと思ったのですか

大学の卒業論文をきっかけにゆうりんではボランティアをすることになり、その後、アルバイトの打診をいただいたことがきっかけです。

・ゆうりんからほだかに移って感じたことはありますか

子どもをみる環境がとても手厚いと感じました。ゆうりんだと子どもの行動範囲が広く、目の届く範囲にならないこともありますが、ほだかでは必ず目の届く範囲で、できる限り複数の職員で関わります。ほだかでこれだけ手厚く見て支えられているから、ほだかからゆうりんに来た子が「大人が助けてくれる、見ていてくれる」という安心感を持って過ごすことができていると分かりました。

・今でもゆうりんの子どもとの交流はありますか

同じ敷地内にいるので、出勤や退勤の時に子どもがいる所を通ると「がいさん！」と声を掛けてくれます。ゆうりんの子どもたちの姿が見えると頭を撫でたり、話を聞いたり、抱っこをしたりしています。担当していた子ども

たちのことが気になるので、関わりを持つようにしています。

・休みの日は何をしていますか

最近では、スーパーで食材を買ってご飯を作ることが多くなりました。先日、生パスタを作ったら、案外美味しかったので最近何回か作っています。クックパット等を見たりして、家族にも食べてもらっています。

・最後に一言

ほだかの子どもゆうりんの子どもみんなとてもかわいいので、自分が少しでも子どもたちの支えになれたらと思います。自分が楽しんでいないと子どもも楽しめないと思うので、一緒に楽しい環境を作ってあげられたらいいなと思います。





# 社会福祉法人中央有鄰学院 令和元年度決算会計報告

| 勘定科目               | 法人本部       | ゆうりん        | ほだか         | きょうわ       | ヘルパーS<br>ゆうりん | かえて        | 収益事業       | 合計          |
|--------------------|------------|-------------|-------------|------------|---------------|------------|------------|-------------|
| 収入                 |            |             |             |            |               |            |            |             |
| 介護保険事業収入           | 0          | 0           | 0           | 0          | 19,865,637    | 0          | 0          | 19,865,637  |
| 児童福祉事業収入           | 0          | 261,497,092 | 205,682,738 | 32,392,701 | 0             | 33,499,843 | 0          | 533,072,374 |
| 借入金利息補助金収入         | 0          | 674,520     | 287,200     | 0          | 0             | 0          | 0          | 961,720     |
| 経常経費寄付金収入          | 13,321,410 | 1,909,085   | 315,000     | 61,000     | 0             | 100,000    | 0          | 15,706,495  |
| 受取利息配当金収入          | 794        | 255         | 1,446       | 35         | 163           | 27         | 54         | 2,774       |
| その他の収入             | 22,912     | 4,677,538   | 10,592,611  | 2,352,016  | 0             | 326,450    | 0          | 17,971,527  |
| 生活事業収入             | 0          | 0           | 0           | 0          | 0             | 0          | 22,497,160 | 22,497,160  |
| 事業活動収入計            | 13,345,116 | 268,758,490 | 216,878,995 | 34,805,752 | 19,865,800    | 33,926,320 | 22,497,214 | 610,077,687 |
| 支出                 |            |             |             |            |               |            |            |             |
| 人件費支出              | 1,204,000  | 196,658,350 | 172,961,510 | 29,009,367 | 19,703,697    | 24,089,017 | 16,015,570 | 459,651,511 |
| 事業費支出              | 1,440,000  | 46,330,143  | 12,933,080  | 2,467,398  | 0             | 3,762,105  | 0          | 66,932,726  |
| 事務費支出              | 1,098,574  | 16,905,304  | 12,588,649  | 4,429,936  | 1,317,305     | 3,778,993  | 1,603,848  | 41,722,609  |
| 支払利息支出             | 183,319    | 843,336     | 359,185     | 0          | 0             | 0          | 0          | 1,385,840   |
| その他の支出             | 0          | 0           | 0           | 0          | 0             | 0          | 0          | 0           |
| 事業活動支出計            | 3,925,893  | 260,737,133 | 198,842,424 | 35,906,701 | 21,021,002    | 31,640,115 | 17,619,418 | 569,692,686 |
| 事業活動資金収支差額         | 9,419,223  | 8,021,357   | 18,036,571  | ▲1,100,949 | ▲1,155,202    | 2,286,205  | 4,877,796  | 40,385,001  |
| 施設整備等収入            |            |             |             |            |               |            |            |             |
| 施設整備等補助金収入         | 0          | 6,700,800   | 1,865,600   | 0          | 0             | 0          | 0          | 8,566,400   |
| 施設整備等寄付金収入         | 0          | 0           | 0           | 0          | 0             | 0          | 0          | 0           |
| 設備資金借入金収入          | 0          | 0           | 0           | 0          | 0             | 0          | 0          | 0           |
| 固定資産売却収入           | 0          | 0           | 0           | 0          | 0             | 0          | 0          | 0           |
| 施設設備等収入計           | 0          | 6,700,800   | 1,865,600   | 0          | 0             | 0          | 0          | 8,566,400   |
| 設備資金借入金償還支出        | 1,092,000  | 8,376,000   | 2,332,000   | 0          | 0             | 0          | 0          | 11,800,000  |
| 固定資産取得支出           | 0          | 1,090,600   | 628,440     | 0          | 0             | 0          | 0          | 1,719,040   |
| 固定資産除却・廃棄支出        | 0          | 0           | 0           | 0          | 0             | 0          | 0          | 0           |
| ファイナンスリース債務の返済支出   | 0          | 0           | 0           | 0          | 0             | 0          | 0          | 0           |
| その他の施設整備等による支出     | 0          | 0           | 0           | 0          | 0             | 0          | 0          | 0           |
| 施設整備等支出計           | 1,092,000  | 9,466,600   | 2,960,440   | 0          | 0             | 0          | 0          | 13,519,040  |
| 施設整備等資金収支差額        | ▲1,092,000 | ▲2,765,800  | ▲1,094,840  | 0          | 0             | 0          | 0          | ▲4,952,640  |
| その他の活動収入           |            |             |             |            |               |            |            |             |
| 長期運営資金借入金元金償還寄付金収入 | 0          | 0           | 0           | 0          | 0             | 0          | 0          | 0           |
| 積立資産取崩収入           | 0          | 1,064,850   | 283,650     | 0          | 0             | 0          | 0          | 1,348,500   |
| 拠点区分間繰入金収入         | 5,000,000  | 0           | 0           | 0          | 0             | 0          | 0          | 5,000,000   |
| その他の活動による収入        | 0          | 0           | 0           | 0          | 0             | 0          | 0          | 0           |
| その他の活動収入計          | 5,000,000  | 1,064,850   | 283,650     | 0          | 0             | 0          | 0          | 6,348,500   |
| 長期運営資金借入金元金償還支出    | 0          | 0           | 0           | 0          | 0             | 0          | 0          | 0           |
| 積立資産支出             | 0          | 2,000,000   | 17,000,000  | 0          | 0             | 0          | 0          | 19,000,000  |
| 拠点区分間繰入金支出         | 0          | 0           | 0           | 0          | 5,000,000     | 0          | 0          | 5,000,000   |
| その他の活動による支出        | 0          | 0           | 0           | 0          | 0             | 0          | 0          | 0           |
| その他の活動支出計          | 0          | 2,000,000   | 17,000,000  | 0          | 5,000,000     | 0          | 0          | 24,000,000  |
| その他の活動資金収支差額       | 5,000,000  | ▲935,150    | ▲16,716,350 | 0          | ▲5,000,000    | 0          | 0          | ▲17,651,500 |
| 当期資金収支差額合計         | 13,327,223 | 4,320,407   | 225,381     | ▲1,100,949 | ▲6,155,202    | 2,286,205  | 4,877,796  | 17,780,861  |
| 前期末支払資金残高          | 71,131,147 | 3,965,111   | 38,907,000  | 3,140,426  | 12,788,082    | 1,747,069  | 2,648,775  | 134,327,610 |
| 当期末支払資金残高          | 84,458,370 | 8,285,518   | 39,132,381  | 2,039,477  | 6,632,880     | 4,033,274  | 7,526,571  | 152,108,471 |

※決算報告等の詳細は、ホームページからご確認ください。

※今年度のふれあいフェスティバルは、中止となりました。

★福祉サビースの事業者は、利用者からの苦情の適切な解決に努めることになっています。中央有鄰学院では、左記の通り苦情解決責任者と受付担当者を設けております。

・ゆうりん  
TEL 052(621)2441  
苦情解決責任者 小尾  
受付担当者 三宅

・ほだか  
TEL 052(693)5628  
苦情解決責任者 梅村  
受付担当者 山本

・きょうわ  
TEL 052(746)4555  
苦情解決責任者 竹内  
受付担当者 山本

・かえて  
TEL 052(746)5190  
苦情解決責任者 小尾  
受付担当者 恒川

＜第三者委員＞  
福祉サビース苦情相談センター  
TEL 052(910)7976  
FAX 052(910)7977

ボツカサップロフド&ビバレッジ(株)  
有楽製菓(株)チユウアンナ1%クラブ  
名古屋地域女性団体連絡協議会(株)丸忠  
コストコホールセールジャパン(株)中部空港倉庫店  
愛知県民間社会福祉事業職員共済会  
(株)フレール出版本部(株)尾州商会  
三菱自動車ふそう労連(株)デンソーウェーブ  
制服のイトウ アンドカンパニーリミテッド  
名古屋ライオンズクラブ 親切会中部支部  
(株)イタルデザインセンター(株)金城工業所  
かずまる薬局蒲里店 鈴木地所(株)  
宗教法人カトリック聖霊奉待布教修道女会  
セカンドハーベスタ名古屋 真如苑助成事業  
緑信用農業共同組合女性部  
緑区保健環境委員会 ワールドビジネス(株)  
イトウアンドカンパニーリミテッド

玉利洋介 小早川雄介 永谷康信 杉浦育子  
柴橋佳幸 畔柳まどか 寺尾法子 浅井千穂  
堀尾麻友 花田恵美 石井祐治 真木芳子  
山口富喜 立花弘美 谷川修 早川久代  
早川富雄 鶴見和子 匿名

「支援ありがとうございました」  
令和2年4月1日から令和2年7月31日まで、寄贈・招待・ボランティア活動にご協力いただきました方々のご紹介をさせていただきます。紙面の都合上内容は省略させていただきます。(順不同・敬称略) 記載されていない方がございましたらご容赦下さい。

【個人】  
門谷一徹 久野ひふみ 深谷まみ 高橋定夫  
熊谷洋介 山口ミツノ 久野すみ子 高岡卓美  
谷本美枝子 武藤理奈 福原亜也美 瀬川早也  
加藤幸男 渡辺瑞子 吉仲かね子 左官千華  
松山信 柳勉 田中尚己 成田浩久 梶野弘  
浜島有美 佐々木志帆 倉繁慶吉 西村登美子  
山田宏巳 近藤光男 持橋いくよ 杉山かをり  
TANQAO 田中光代 志賀教夫 佐久間信男  
金田和久 金城優 成田浩久 七里正子

【団体】  
(南)ダスカジヤパンクアウテモック(株)遠東通商  
K&N 大高店 緑信用農業共同組合  
コカ・コーラボトラーズジャパン(株)  
(株)ナインロ バームタウン大高(株)サントス  
明誠(株) 近藤産興(株) 緑区社会福祉協議会  
タリズコーヒージャパン(株)豊明損保センター  
イシダ総合システム(株) 名古屋食糧  
マックスバリュ有松駅前店(株)ヤマダヤ  
(株)カルナック 森永製菓(株)名古屋市  
中部善意銀行 名古屋トヨペット(株)新産業  
マックスバリュ左京山店(株)たかくら  
クロスプラス(株) ティーエヌエス(株)

★福祉サビースの事業者は、利用者からの苦情の適切な解決に努めることになっています。中央有鄰学院では、左記の通り苦情解決責任者と受付担当者を設けております。

・ゆうりん  
TEL 052(621)2441  
苦情解決責任者 小尾  
受付担当者 三宅

・ほだか  
TEL 052(693)5628  
苦情解決責任者 梅村  
受付担当者 山本

・きょうわ  
TEL 052(746)4555  
苦情解決責任者 竹内  
受付担当者 山本

・かえて  
TEL 052(746)5190  
苦情解決責任者 小尾  
受付担当者 恒川

＜第三者委員＞  
福祉サビース苦情相談センター  
TEL 052(910)7976  
FAX 052(910)7977

## COLUMN

しつけとは何か？と聞かれたら迷わず「待つこと」と答えます。すぐにできないのは当然として、できなかったことができるようになるのを楽しみに待つことです。もし、できないことにイライラするという大人がいるとしたら、気の毒なのは大人ではなく子どもです。「なんで出来ないの？」「なんでやらないの？」「なんで食べないの？」という無言のメッセージは多くの場合において伝わりません。それは、子ども自身を否定するメッセージとして伝わり、悪循環を引き起こすこともあります。もし、どれだけ待っても、何度教えても出来ない、伝わらないのであれば、伝え方の工夫をしてみてはどうでしょうか。出来ないことにに対して工夫や努力をしなければならぬのは子どもではありません。それは、大人の役目です。子どもには、元々「自分でやってみたい」「できるようにになりたい」という力が備わっています。子どもを信じて、大人が笑顔でその工夫を楽しめるようになれば、子育てはもっともっと楽しくラクになるはずです。

